

# 令和8年産(7年播)麦生育情報 No. 2 (R8.1.23)

(次回は2月下旬の予定)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター

滋賀県近江八幡市安土町大中 516 (TEL : 0748-46-4392)

## 1 気象経過と生育状況

(1) 気象の経過 (彦根気象台、12月は平成27～令和6年、1月は平成28年～令和7年の平均値との比較)

要素		平均気温	日照時間	降水量
12月	上旬	やや低い	平年並	やや少ない
	中旬	やや高い	やや多い	やや少ない
	下旬	高い	平年並	やや多い
1月	上旬	やや低い	やや少ない	平年並
	中旬	やや高い	多い	少ない

注) 平均気温 <±0.5℃:平年並、±0.5～1.0℃:やや高い(低い)、±1.0～2.0℃:高い(低い)、±2.0℃>:かなり高い(低い)  
 日照時間 <±5hr:平年並、±5～10hr:やや多い(少ない)、±10～15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)  
 降水量 <±10mm:平年並、±10～20mm:やや多い(少ない)、±20～30mm:多い(少ない)、±30mm<:かなり多い(少ない)

(2) 生育状況【農業技術振興センター麦類作況調査(1月15日現在)による。表1および後掲グラフ参照。】

- 「びわほなみ」は平年に比べ、茎数は多く、草丈はやや長く、葉数は0.1枚多い。
- 「ふくさやか」は平年に比べ、茎数はかなり多く、草丈はやや長く、葉数は平年並。
- 「ファイバースノウ」は平年に比べ茎数はかなり多く、草丈は長く、葉数は0.1枚多い。
- 各品種の生育の進み具合は、葉齢の進展程度から概ね平年並と見込まれる。

表1 令和8年産(7年播)麦類作況調査の結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種名	年次	12/16 調査			1/15 調査		
		茎数 (本/㎡)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	茎数 (本/㎡)	草丈 (cm)	葉数 (枚)
びわほなみ	R8年産 (平年比)	524 (98)	13.5 (99)	4.0 (+0.1)	1072 (122)	20.0 (110)	5.6 (+0.1)
	平年	536	13.7	3.9	881	18.2	5.5
ふくさやか	R8年産 (平年比)	602 (135)	15.3 (98)	3.6 (-0.3)	918 (140)	23.7 (114)	5.4 (±0)
	平年	445	15.6	3.9	655	20.7	5.4
ファイバースノウ	R8年産 (平年比)	438 (124)	13.1 (108)	2.8 (-0.5)	998 (153)	13.8 (118)	5.2 (+0.1)
	平年	354	12.1	3.3	654	11.7	5.1

※播種日は、令和7年11月5日。

※「ふくさやか」・「ファイバースノウ」の平年は、平成28～令和7年産(平成27～令和6年播)の10年間の平均値。

※「びわほなみ」の平年は、平成28,30～令和7年産(平成27,29～令和6年播)の9年間の平均値。

※播種様式は条播(条間25cm)、設定播種量は8kg/10a。

## 1月15日現在の麦の生育状況(農技センター作況調査)



「びわほなみ」



「ふくさやか」



「ファイバースノウ」

## 2 県内の状況

○10月下旬から1月中旬にかけて、極端な高温や低温が続くことはなく気温は平年並に近い推移をしているため、生育の進み具合は平年並とみられる。

○11月以降は、12月下旬を除いて少雨傾向で推移しており、乾きやすい状態が保たれているほ場が多く、生育は順調とみられる。

## 3 今後の管理

### (1) 追肥

○速効性肥料の分施肥体系(基肥－追肥－穂肥－実肥)

・1月の追肥がまだ施用されていないほ場では早急に施用する。

○全量基肥－発肥料体系

・基本的に追肥は必要ないが、早播きしているほ場で葉色の低下が著しい場合は、2月上旬～中旬に追肥を施用する。

○後期重点施肥体系

・播種時期の違いなどによって生育の差があるため、早めに茎立期(主稈長が「2cm」になる時期)の確認を行い、施肥(穂肥)が遅れないようにする。

○融雪後の追肥

・分施肥体系で、積雪のため追肥が施用できなかったほ場は、融雪後、なるべく早く追肥を施用する。



- ・基肥一発肥料体系であっても、積雪下で止まっていた生育を促進するため、融雪後に追肥（窒素2 kg/10a）を施用する。
- ・追肥を施用した場合、穂肥や実肥の施用量を調整する。
- ・融雪後に追肥を施用する場合は、地表面に溜まった融雪水を排水したのちに実施する。

## （２）排水対策

○分げつ期の湿害は、茎数不足から穂数不足に至るとともに、根の伸長が不十分となって登熟不良にもつながるため、溝に水がたまっただまの状態にならないよう、溝さらえを行うなど徹底した排水対策を講じる。

○特に、施肥前は、溝に水がたまっている場合は溝さらえを行い、排水を促す。

### 【参考サイト】

農業技術振興センター <http://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/>

病虫害防除所 <http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/>

彦根地方气象台 <http://www.jma-net.go.jp/hikone/>

早期天候情報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/souten/>



農業技術振興センター



病虫害防除所



彦根地方气象台



早期天候情報

## ～農業情報の配信について～



○滋賀県では、「防災・防犯等の情報をはじめとする滋賀の安全・安心のための情報やイベントのご案内など」を、ご希望の方へ情報配信しています。

○台風等の気象災害や病虫害の発生が懸念される際に農業技術情報や農業に関するイベントのご案内など農業者向けの情報も配信しています。農業に関するタイムリーな情報収集手段の一つとして、是非ご利用ください。

○詳しいサービスの説明、ご利用上の注意及び利用規約は下記の滋賀県ホームページをご覧ください。

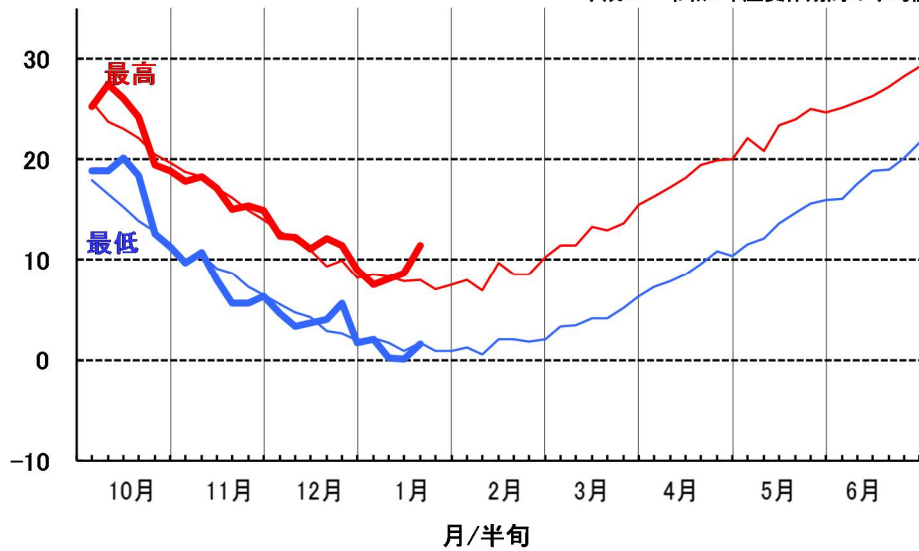
滋賀県ホームページ「しらが（しらせる滋賀情報サービス）ご案内」

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kurashi/ict/306374.html>



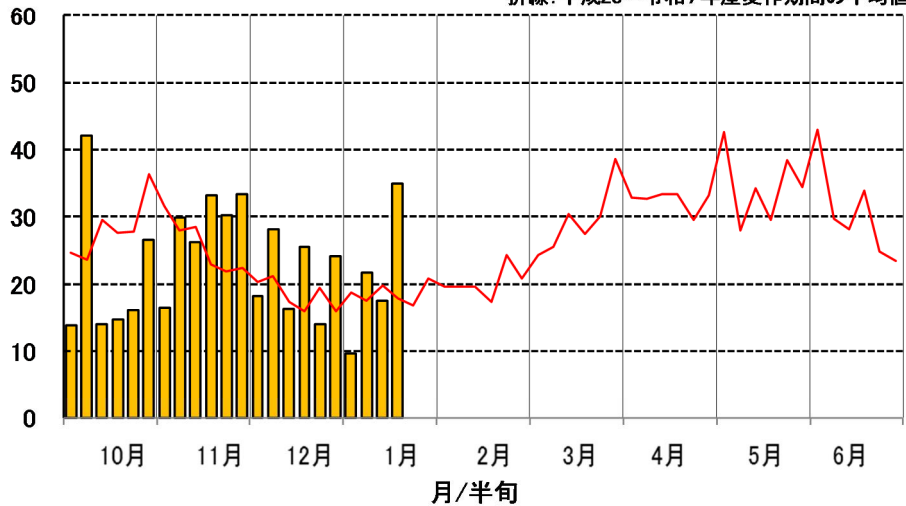
令和8年産(令和7年播) 麦作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)

(°C) 【気温の推移(最高気温、最低気温)】 — 本年(令和8年産)  
— 平成28～令和7年産麦作期間の平均値



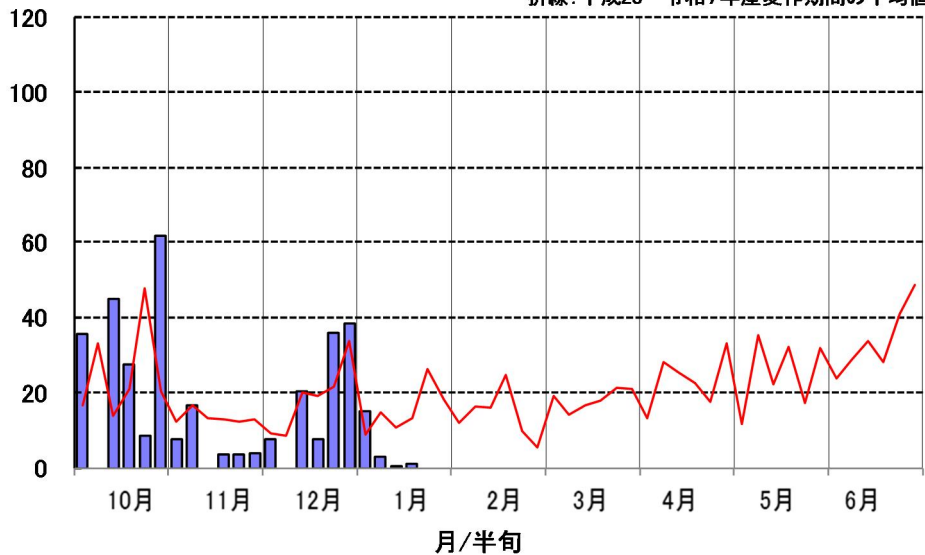
(hr) 【日照時間の推移】

棒線: 本年(令和8年産)  
折線: 平成28～令和7年産麦作期間の平均値



(mm) 【降水量の推移】

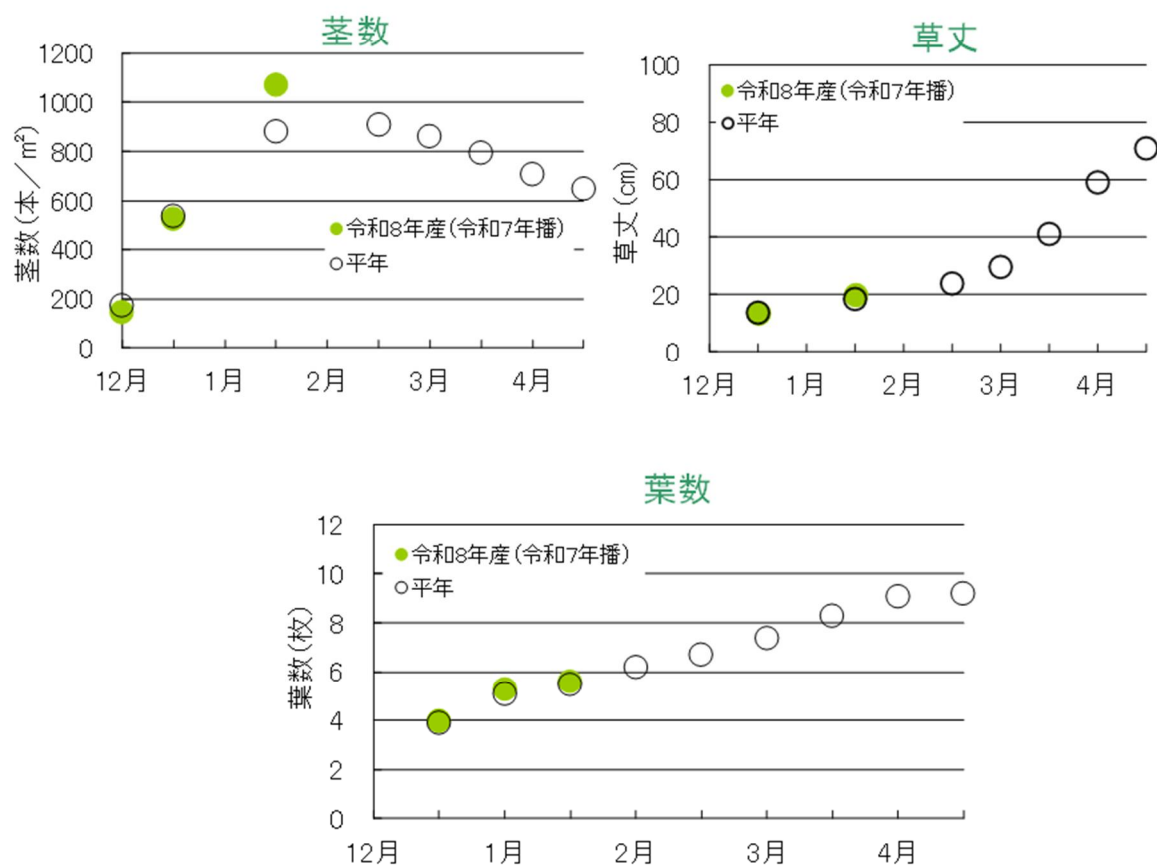
棒線: 本年(令和8年産)  
折線: 平成28～令和7年産麦作期間の平均値



# 令和8年産生育調査結果(1)

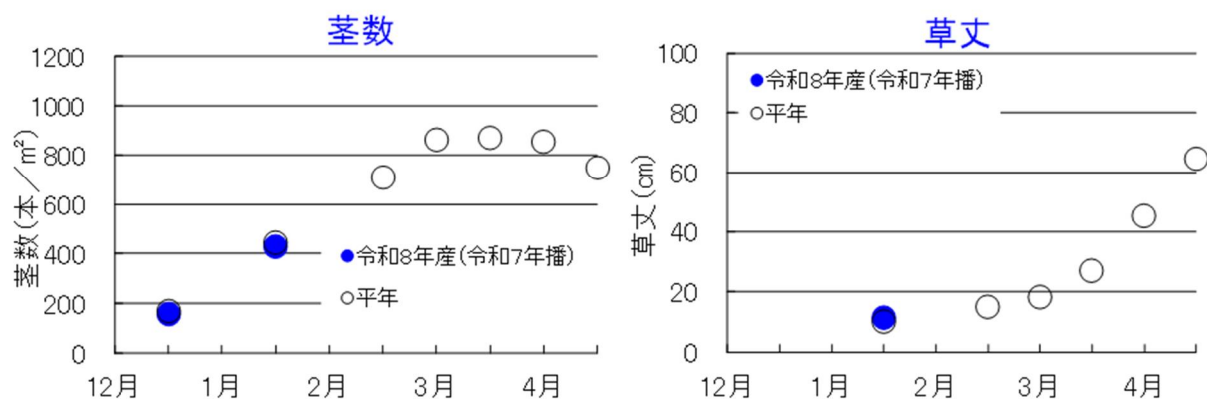
## 「びわほなみ」

令和7年11月5日播



(参考)

令和7年11月20日播



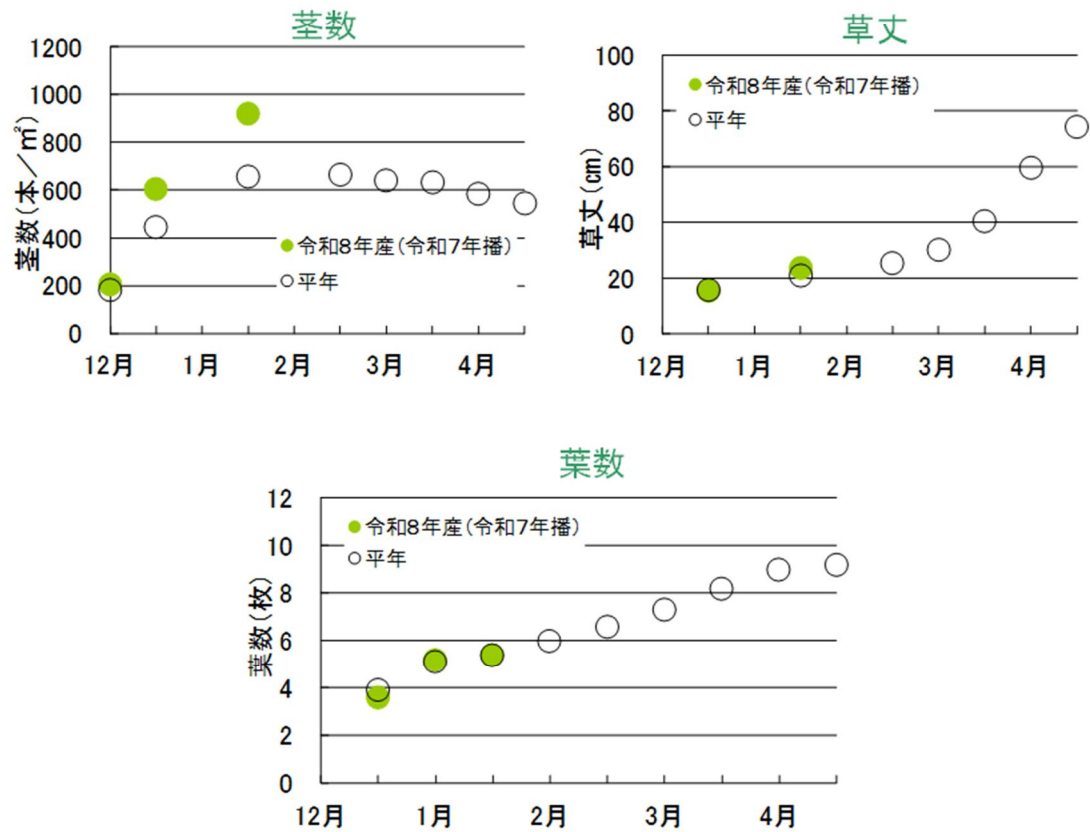
※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28,30～令和7年産(平成27,29～令和6年播)の9年間の平均値。



## 令和8年産生育調査結果(2)

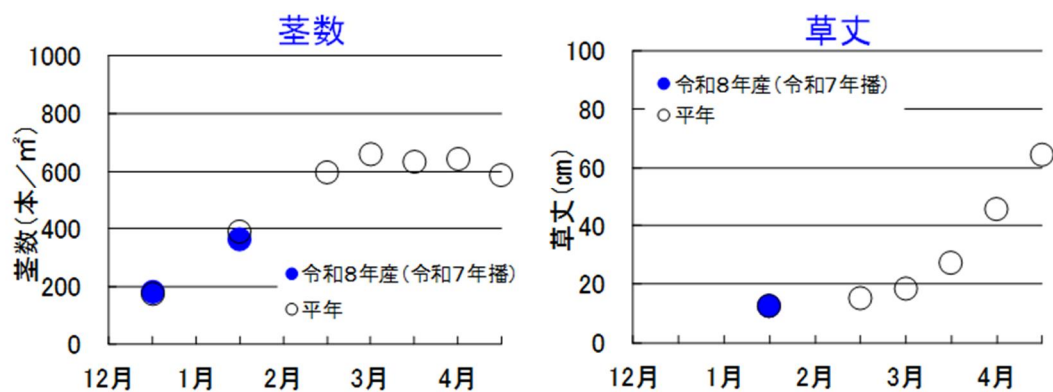
### 「ふくさやか」

令和7年11月5日播



(参考)

令和7年11月20日播

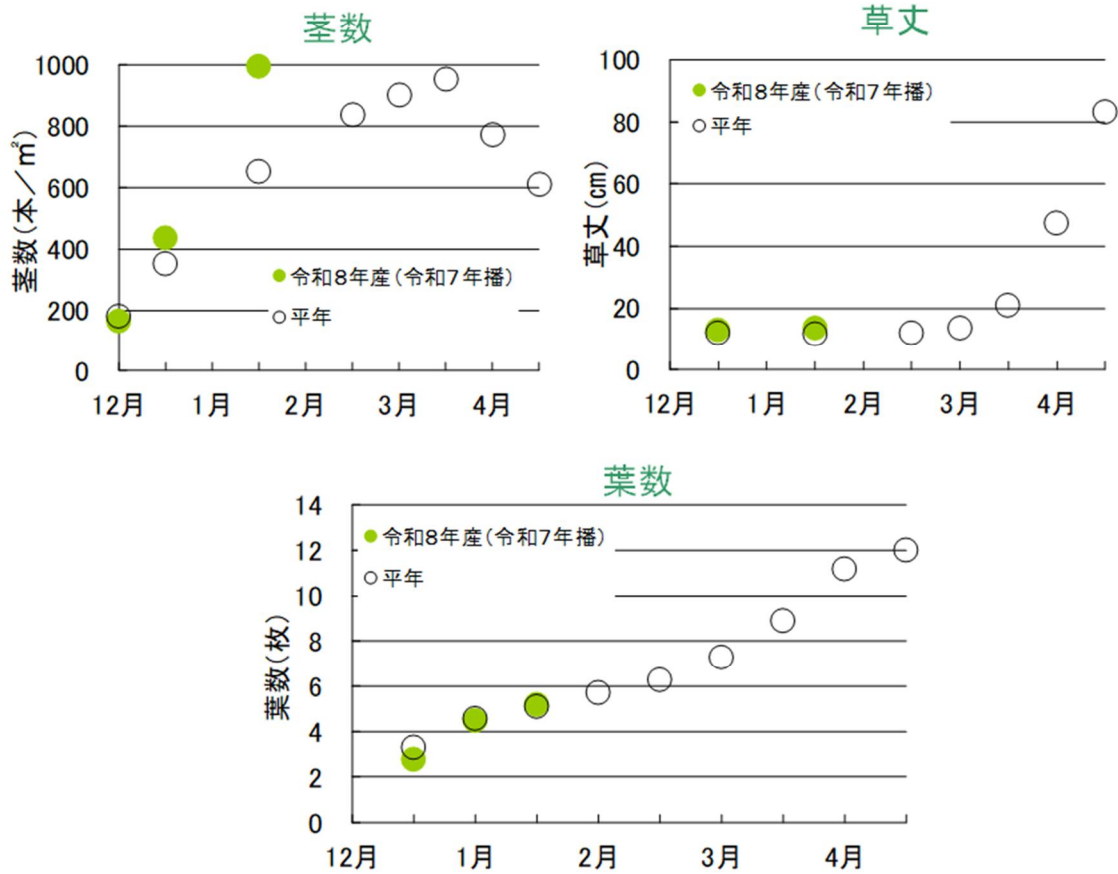


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28～令和7年産(平成27～令和6年播)の10年間の平均値。

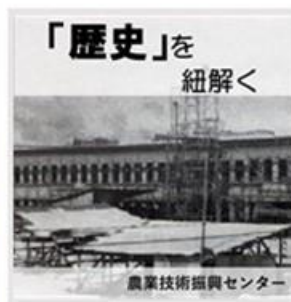
## 令和8年産生育調査結果(3)

### 「ファイバースノウ」

令和7年11月5日播



※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28～令和7年産(平成27～令和6年播)の10年間の平均値。



Instagram始めました

滋賀県農業技術振興センターの  
公式アカウントです  
各研究部門・農業大学校・  
農業革新支援部から  
旬の情報やお知らせを  
お届けします  
フォローをお願いします！  
(写真は配信内容イメージです)



NOUGI\_SHIGA

各研究部門  
農業革新支援部



SHIGA\_NOUDAI

農業大学校



滋賀県農業技術振興センター